

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・前期・選択
	対象学科・専攻	機械・電子システム、電気情報システム、土木工学専攻
環境創造工学特別講義 (Special Lecture in Advanced Course)	担当教員	各技術士、岡林 巧 (Okabayashi, Takumi)
	教員室	土木工学科棟3階 (Tel. 42-9116)
	E-Mail	okabaya@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100分) + 自学自習 (200分)] × 15回	
<p>〔本科目の目標〕 省エネ・省資源・環境対策、廃棄物処理、環境保護、エネルギー問題等、環境に関連した技術分野について、その最新の動向やタイムリーなトピックについて教授できる技術士を招いて講義を行う。環境問題に関する知識と、製品開発や製造現場での環境対策技術等について学習することにより、環境に配慮したものづくりに実践的に応用できる知識および能力を涵養する。</p>		
<p>〔本科目の位置付け〕 地球規模での環境対策のため省エネ・省資源技術は、あらゆる産業分野での必須の課題であり、学問分野、専攻の枠を超えた複合的な技術である。特に本科目の位置づけは、環境に配慮する能力を身につけるため、「環境」に関する共通科目として履修する。自らの関心または必要性に応じて専攻分野以外の科目を履修する。本科目の位置付けは、これらに力点を置いて聴講生の技術力の伸張と人間性の涵養を目指している。</p>		
<p>〔学習上の留意点〕 複数の本校連携技術士によるオムニバス方式の講義が中心となるため、その都度報告書をメールで提出し評価を受ける。また、各自への連絡手段は、掲示板やメールによるので連絡に留意すること。さらに、当該授業は外部の技術士による「環境」に関する実務授業であることを踏まえて受講すること。</p>		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 講義の導入	2	「環境創造工学特別講義の概要」が理解できる。
2. 総合技術監理	4	技術士の業務「総合技術監理」が理解できる。
3. 応用理学部門	2	技術士の業務「応用理学部門」が理解できる。
4. 情報工学部門	2	技術士の業務「情報工学部門」が理解できる。
5. 建設部門	4	技術士の業務「建設部門」が理解できる。
6. 農業部門	2	技術士の業務「農業部門」が理解できる。
7. 環境部門	2	技術士の業務「環境部門」が理解できる。
8. 森林部門	2	技術士の業務「森林部門」が理解できる。
9. 水道部門	2	技術士の業務「水道部門」が理解できる。
10. 衛生部門	2	技術士の業務「衛生部門」が理解できる。
11. 資源工学部門	2	技術士の業務「資源工学部門」が理解できる。
12. 化学部門	2	技術士の業務「化学部門」が理解できる。
13. 総合評価	2	総合評価として各技術士に提出したレポートの内容を評価自己点検する。
〔教科書〕プリント配布		
〔参考書・補助教材〕講師である各技術士により指定		
〔成績評価の基準〕各技術士が100点満点で評価した結果を相加平均する。		
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕 1-2		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-2		
〔JABEEとの関連〕 (a), (b), (d)(2)a)		